

# 最近の消費・輸入動向等について

## 《 目 次 》

1. 家計における購入、支出動向等
  - (1) 生鮮野菜の1人当たり月別購入 . . . . . P. 1～3
  - (2) 野菜の摂取量 . . . . . P. 4
2. 小売の販売動向
  - (1) チェーンストア . . . . . P. 5
  - (2) スーパーマーケット . . . . . P. 6
  - (3) 品目別小売・卸売価格 . . . . . P. 7～8
3. 輸入の動向 . . . . . P. 9～10
4. 平成27年産秋冬野菜主要品目の主産県別生産・出荷等 . . . . . P. 11
5. 今後の気象予報 . . . . . P. 12～13

## 1. 家計における購入、支出動向等

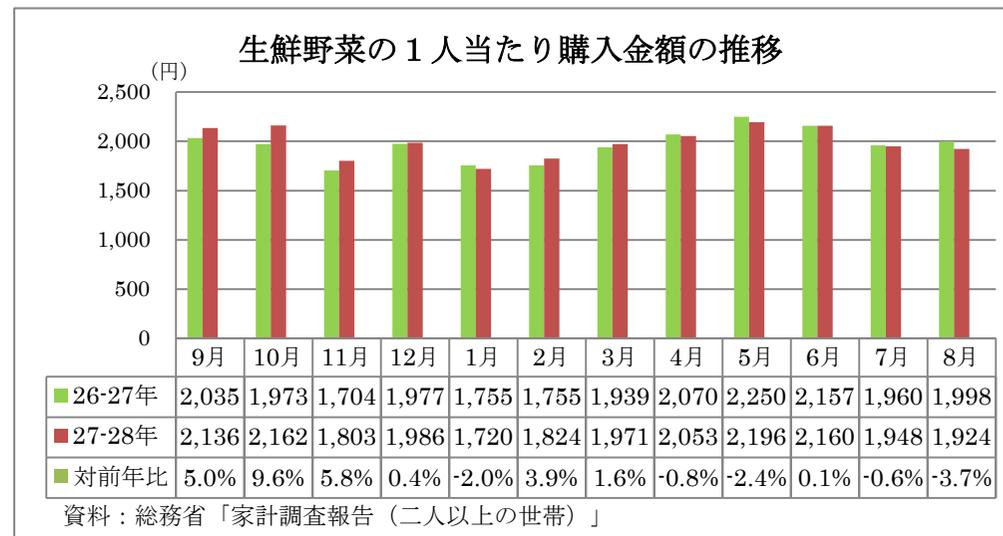
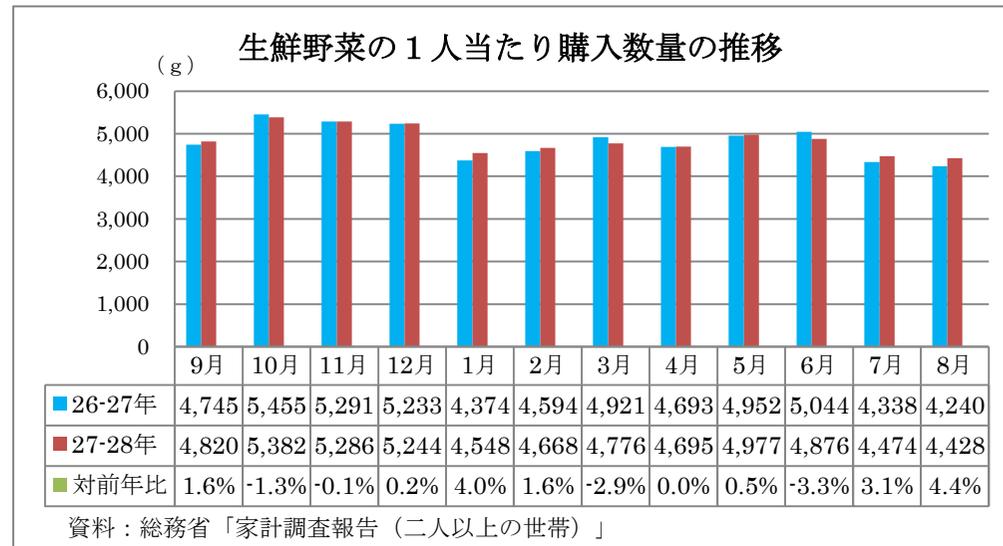
### (1) 生鮮野菜の1人当たり月別購入

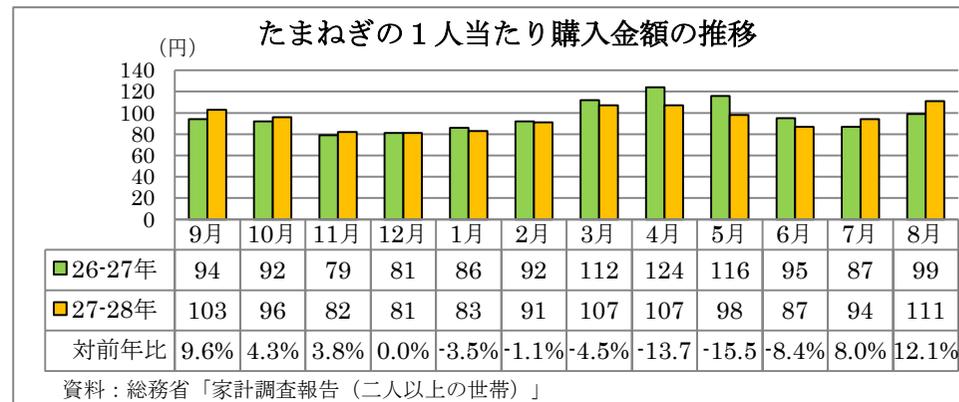
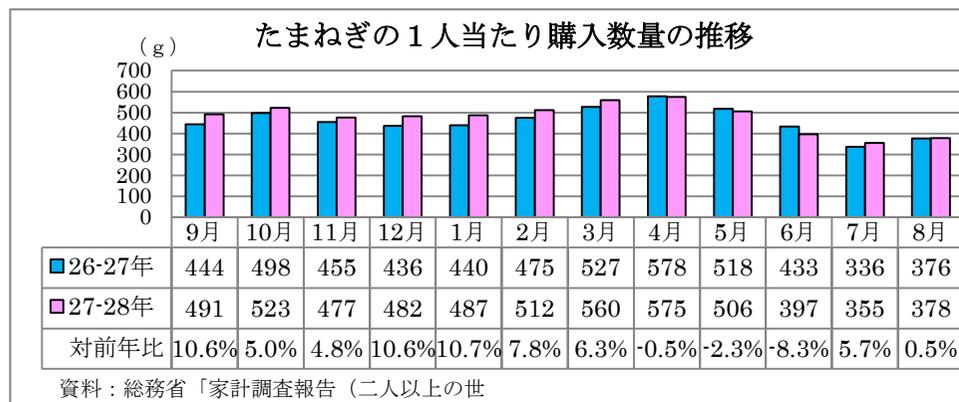
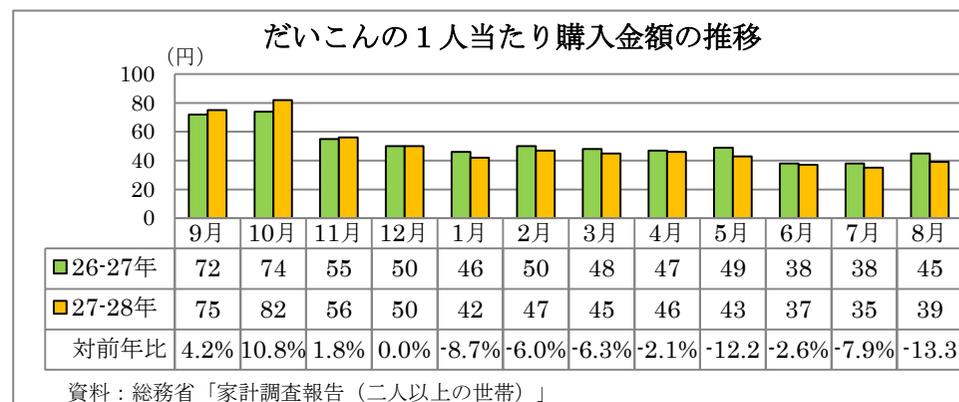
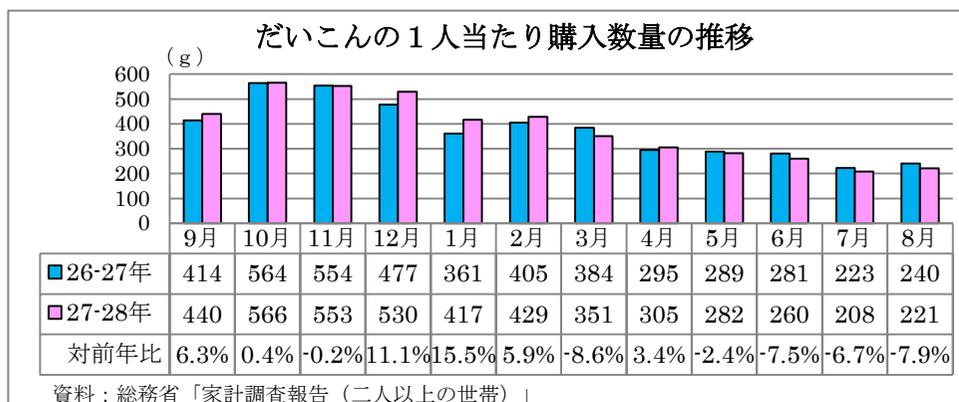
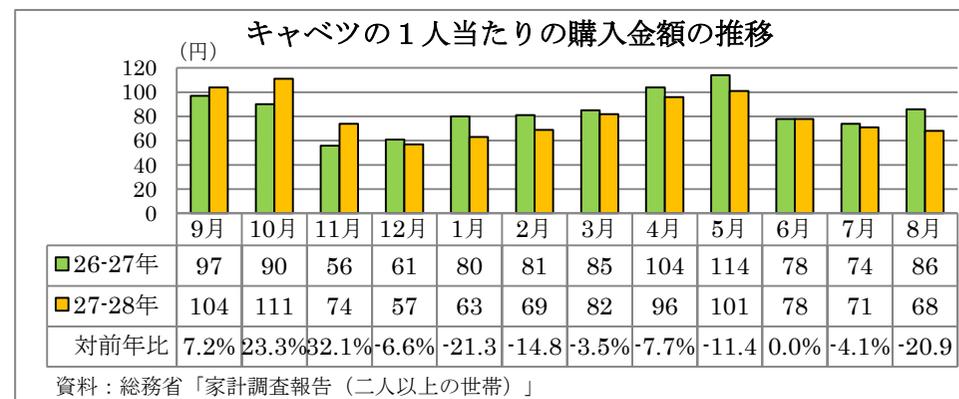
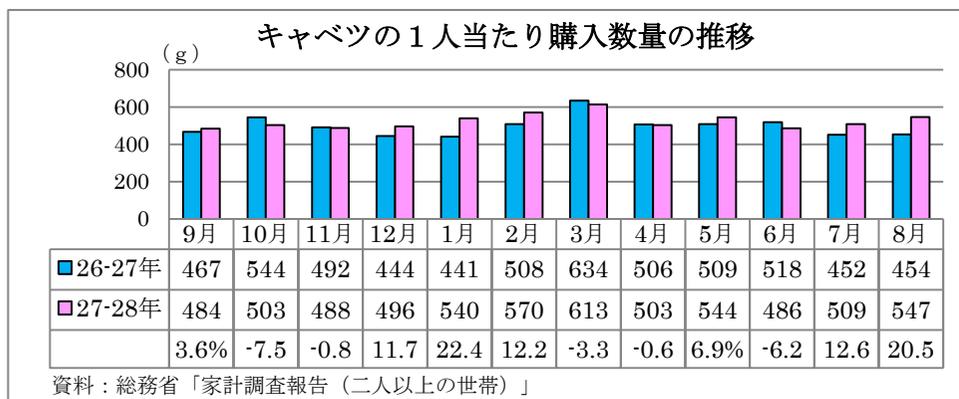
#### <購入数量>

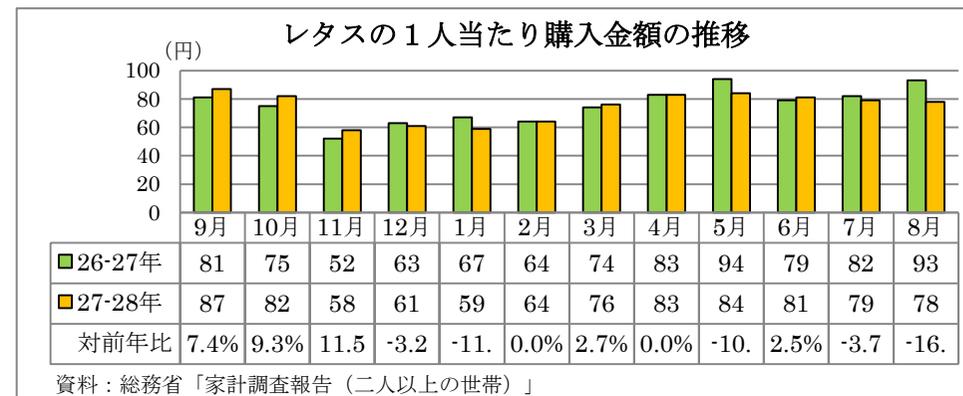
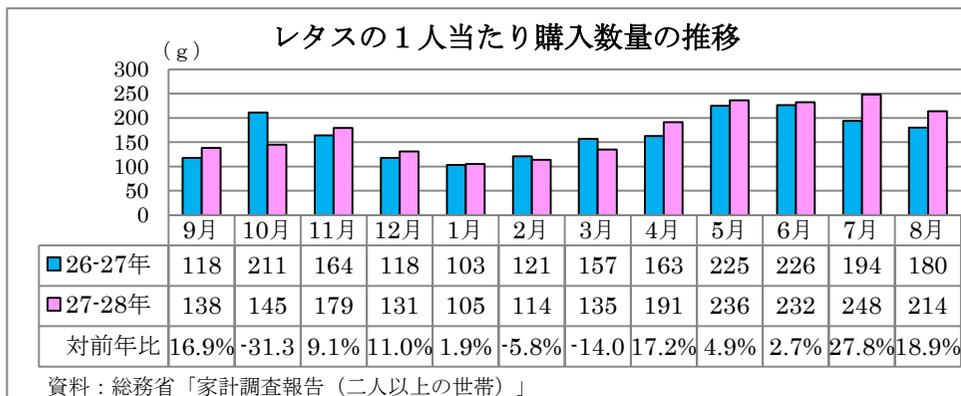
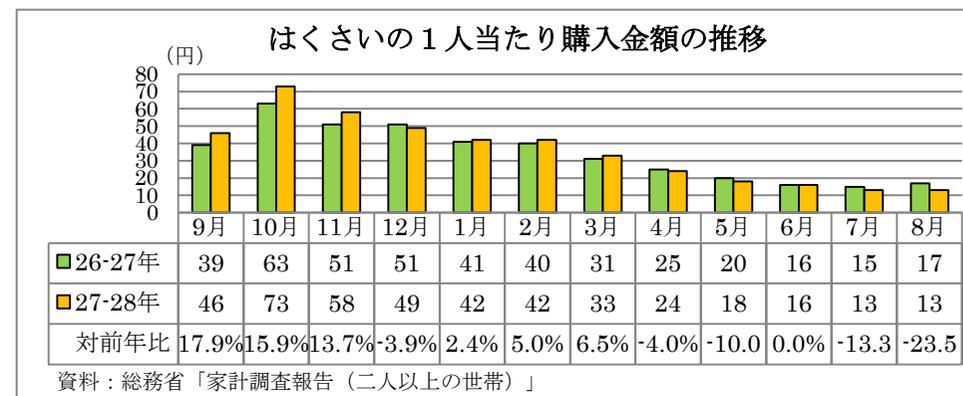
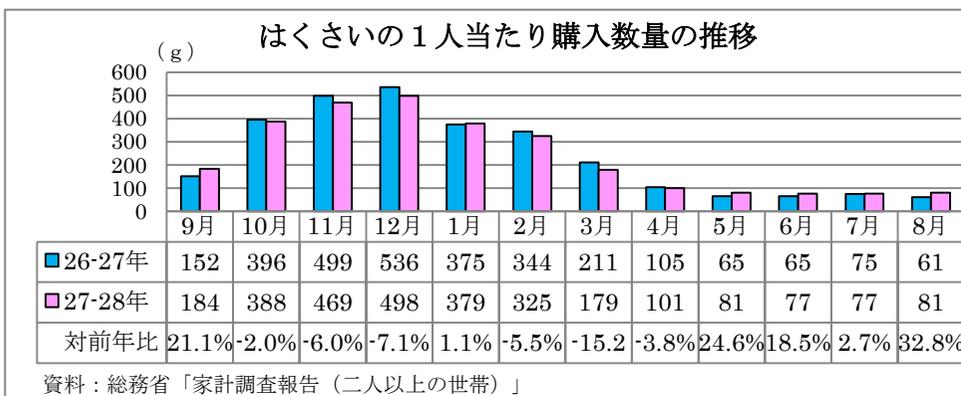
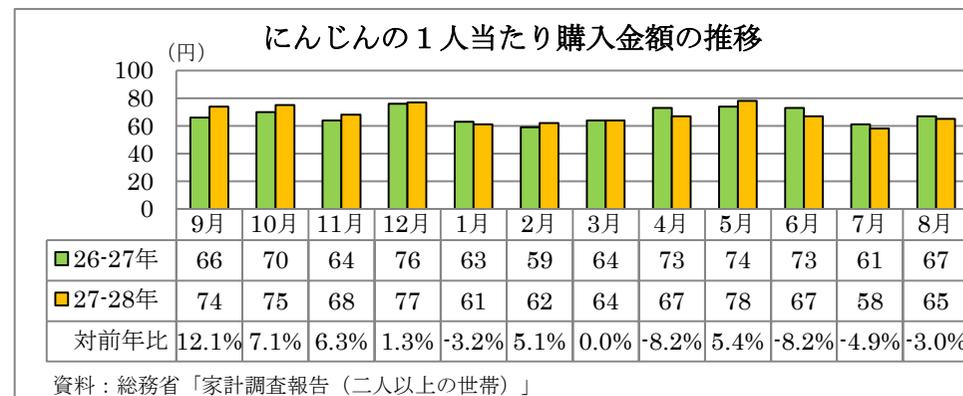
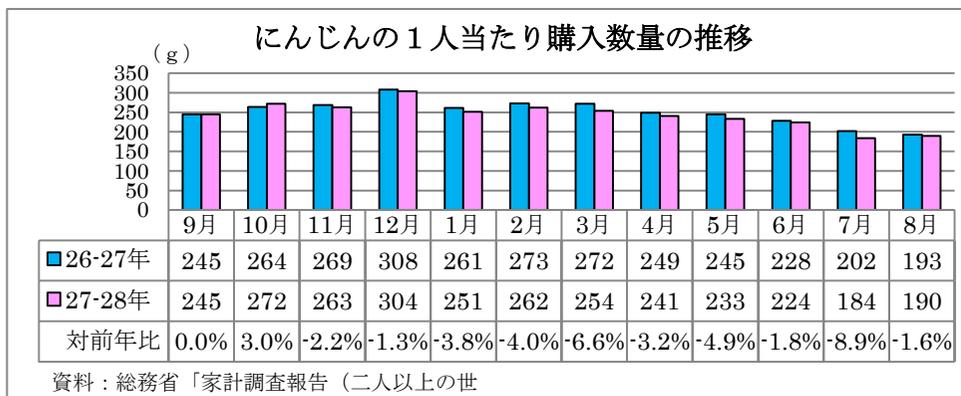
- 生鮮野菜の1人当たりの購入数量は、平成27年9月は、曇雨天等の天候不順の影響で高値となった一方で、気温の低下で鍋需要が高まり、はくさい等の購入数量が増加したことから、前年を上回った。
- 10月は、レタス等が、曇雨天等により出荷数量が減少し、前年に比べて高値となったことから、前年を下回った。
- 1月～2月は、だいこん等が、天候に恵まれて前進出荷傾向となったため出荷数量が増加し、前年に比べて安値となったことから、前年を上回ったが、3月は前進出荷の影響がでて出荷数量が減少したため、前年を下回った。
- 6月は、たまねぎ等の病害の発生などにより出荷数量が減少し、前年に比べて高値となったことから、前年を下回ったが、7月以降は、キャベツ等の生育が順調で出荷数量が増加し、前年に比べて安値となったことから、前年を上回った。

#### <購入金額>

- 生鮮野菜の1人当たりの購入金額は、9月から11月頃までは主要野菜の価格が、天候不順による品薄感から、総じて高値となったことから、前年を上回って推移した。
- 1月は出荷が順調で引合いが弱まり、価格も平年を下回ったことから、前年を下回ったが、2月には、端境等で引き合いが強まり、価格も平年を上回ったことから前年を上回った。
- 5月、8月は、出荷が順調で引合いが弱まり、価格が前年に比べかなり低下したことなどから、前年を下回った。

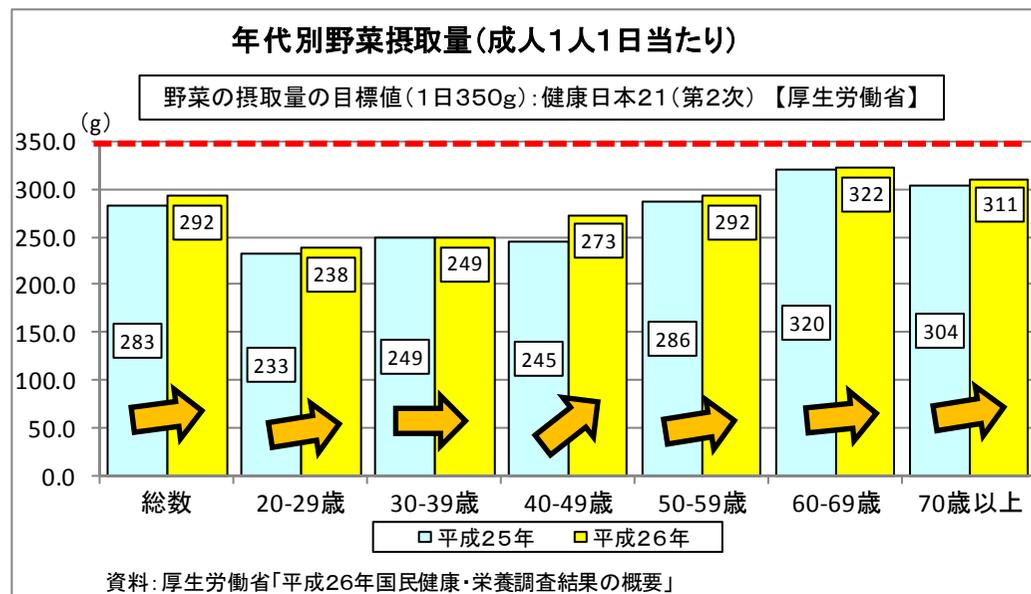




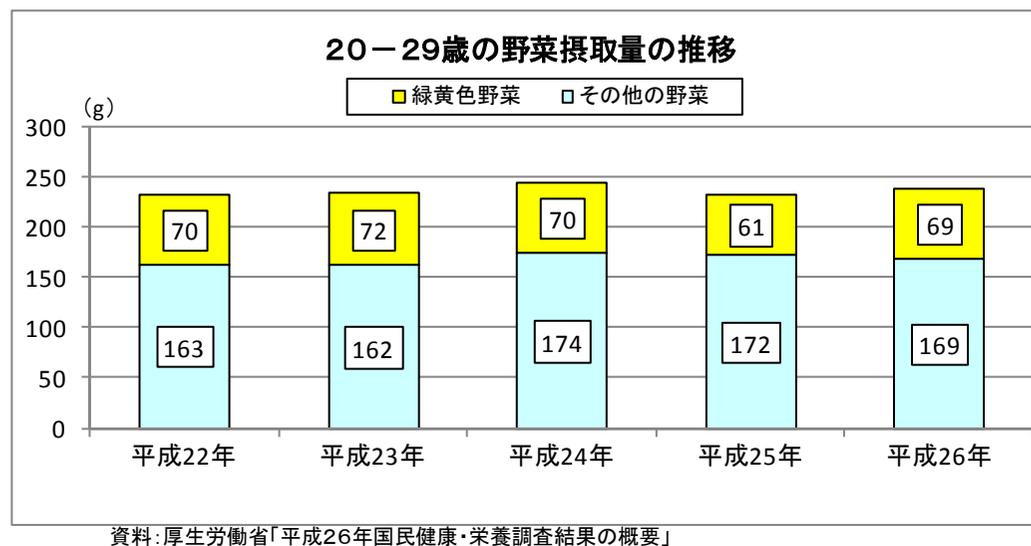


## (2) 野菜の摂取量

- 平成26年の成人1人1日当たりの野菜摂取量は、前年に比べて増加し、292グラム（前年比103%）となったが、依然として、健康日本21（第2次）で示された野菜の摂取量の目標値（1日350g）を下回っている。
- また、30代以外は、前年よりも野菜摂取量が増加しており、特に、40代の野菜摂取量の増加量が大きくなっているものの、どの年代も目標値には達しておらず、これまでと同様に20代が一番低い水準となっている。



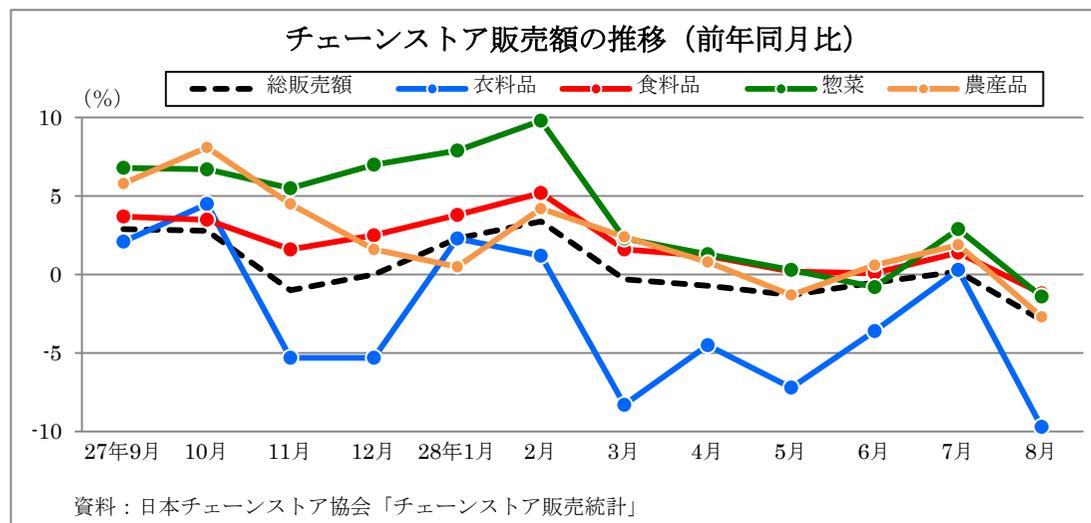
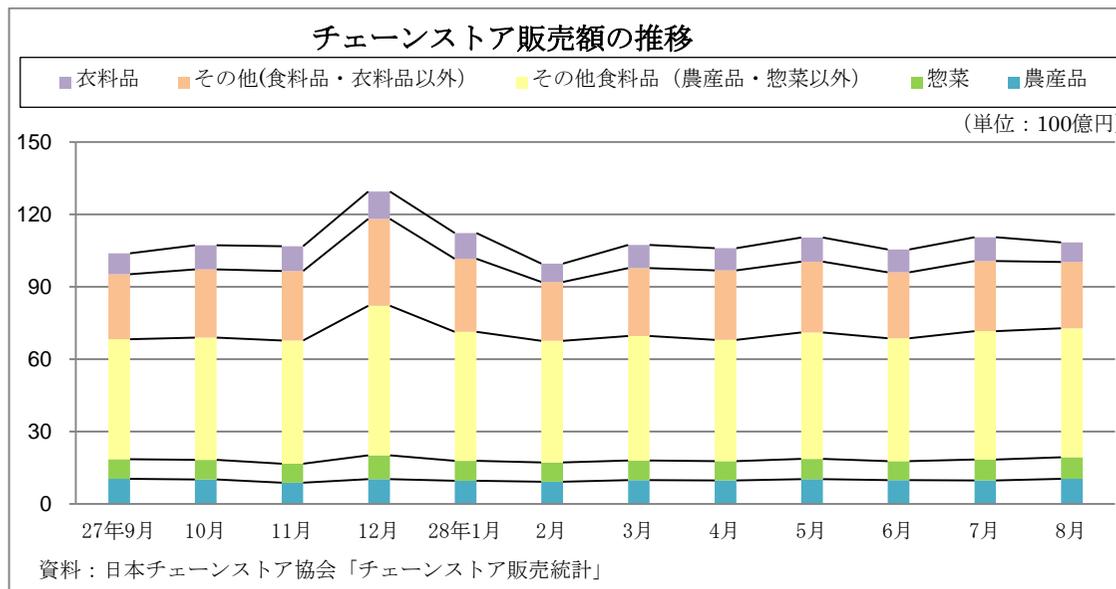
- 野菜摂取量が最も少ない20代の過去5年間の動向を見ると、ほぼ横ばいで推移している。緑黄色野菜とその他の野菜別に見ると、その他の野菜が若干減少（前年1.7減）したものの、緑黄色野菜が前々年並みの水準に回復（前年13.0%増）したことから、全体では前年比2.1%の増加となった。



## 2. 小売の販売動向（平成27年9月～平成28年8月）

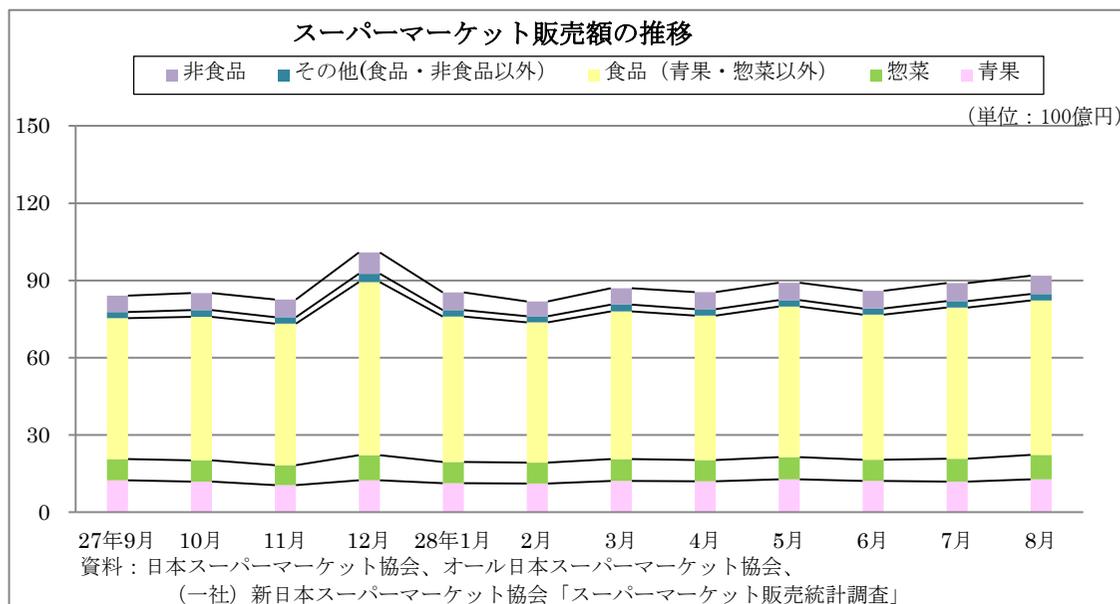
### （1）チェーンストア

- 総販売額については、最高額は12月の1兆2,948億円、最低額は2月の9,952億円であった。前年同月比の動向は、9月から2月までは、11月を除いて前年を上回った。11月は、食料品は好調に推移したものの、気温高などの影響を受け衣料品などが不調に終わった。3月以降は、衣料品が苦戦したことにより、マイナスとなった。特に、8月後半は残暑や台風の影響でマイナスとなった。
- 農産品については、最高額は9月の1,046億円、最低額は11月の887億円であった。前年同月比の動向は、5及び8月を除いて前年を上回った。5月及び8月は、野菜が天候に恵まれて生育が順調であったことから相場安となり前年を下回った。
- 惣菜については、最高額は12月の987億円、最低額は11月の780億円であった。前年同月比の動向は、高齢化や個食化、時短ニーズの高まりで消費者に支持され、総じて前年を上回ったが、6月は和惣菜の動きが鈍く、8月は台風などの天候要因もあって前年を下回った。

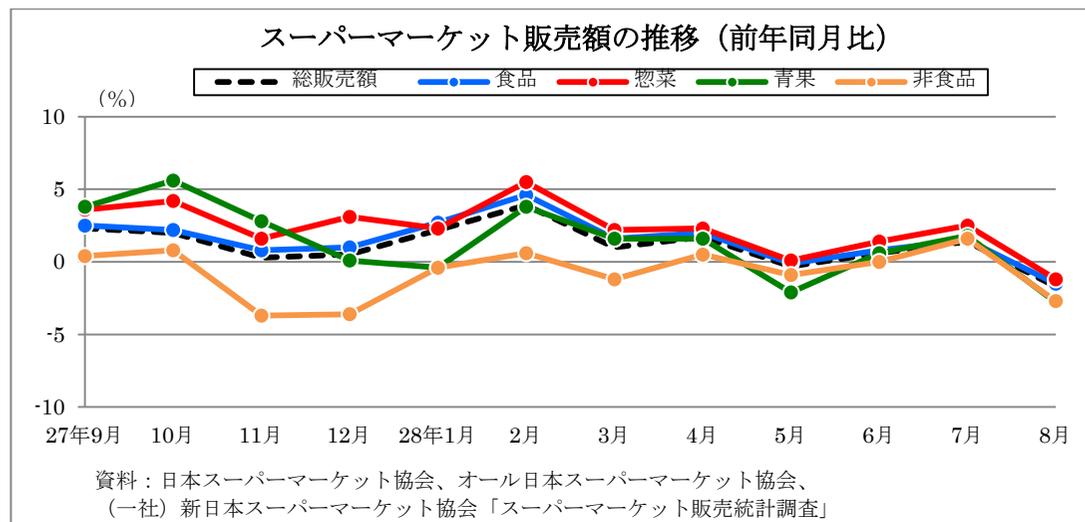


(2) スーパーマーケット（平成27年9月～平成28年8月）

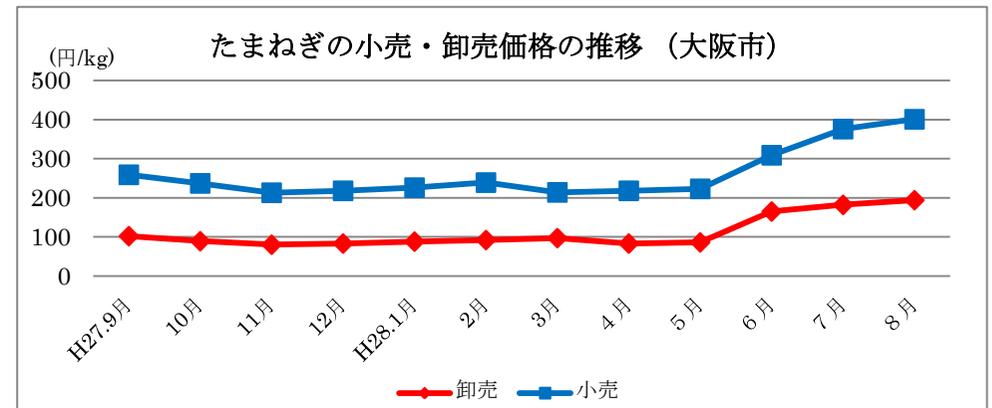
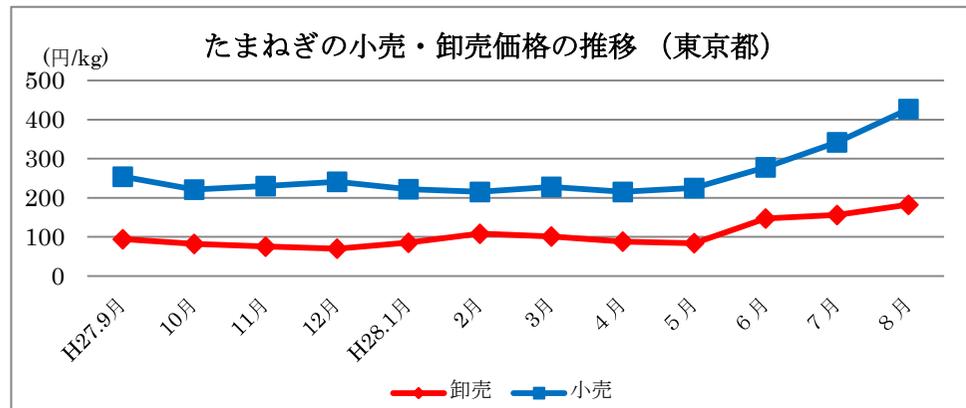
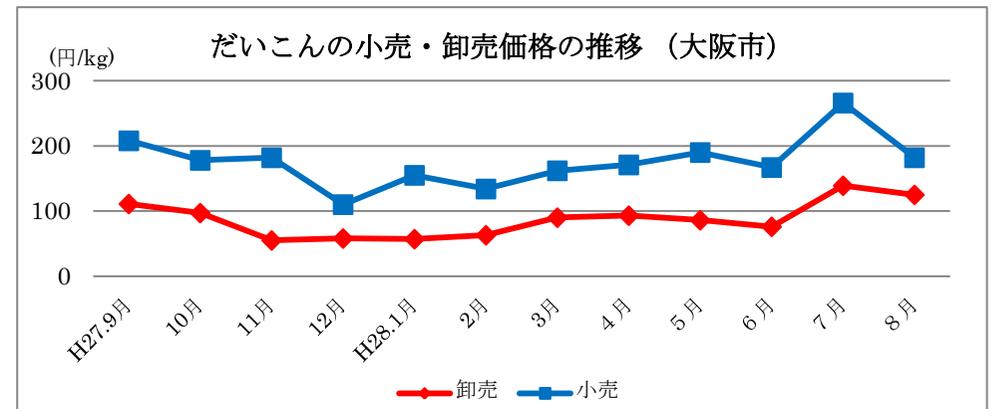
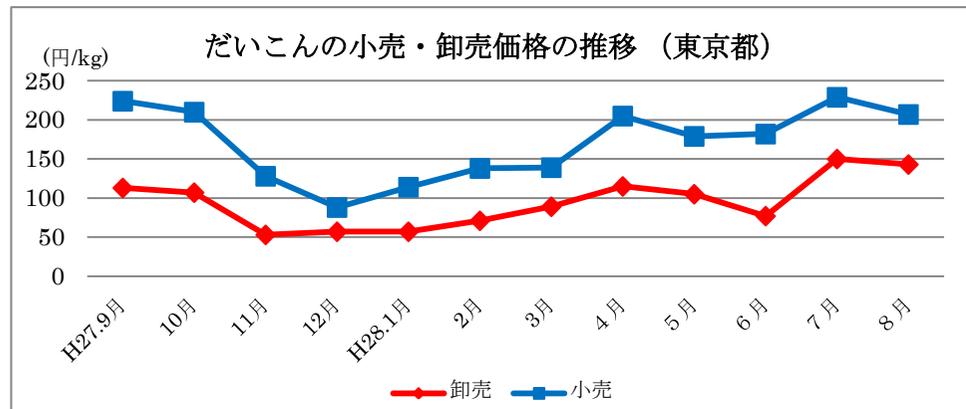
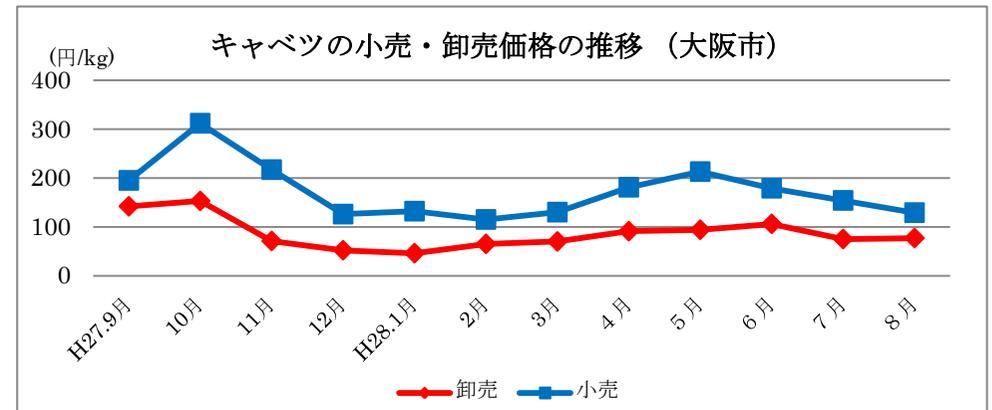
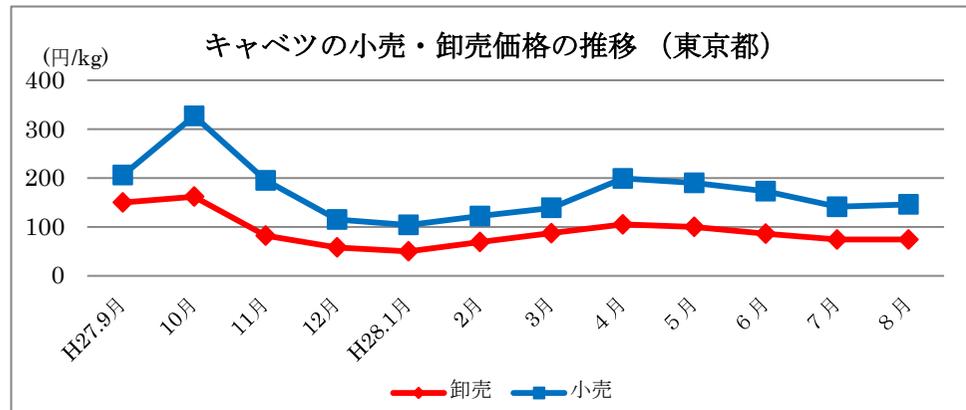
- 総販売額については、最高額は12月の1兆88億円、最低額は2月の8,187億円であった。  
前年同月比の動向は、5月及び8月を除く全ての月で前年を上回り、特に、閏年で営業日数が1日多かった2月が最も大きく上回った。5月及び8月は、野菜の生育が順調で昨年に比べて相場安となったことや、8月は、土日が一日少なく、加えて台風による客数減の影響を受けたため、前年を下回った。
- 青果については、最高額は9月の1,227億円、最低額は11月の1,042億円であった。  
前年同月比の動向は、価格が1月、5月及び8月を除いて、前年同月を上回った。  
5月及び8月は、天候に恵まれて生育が順調であったことから相場安となり、前年を下回った。

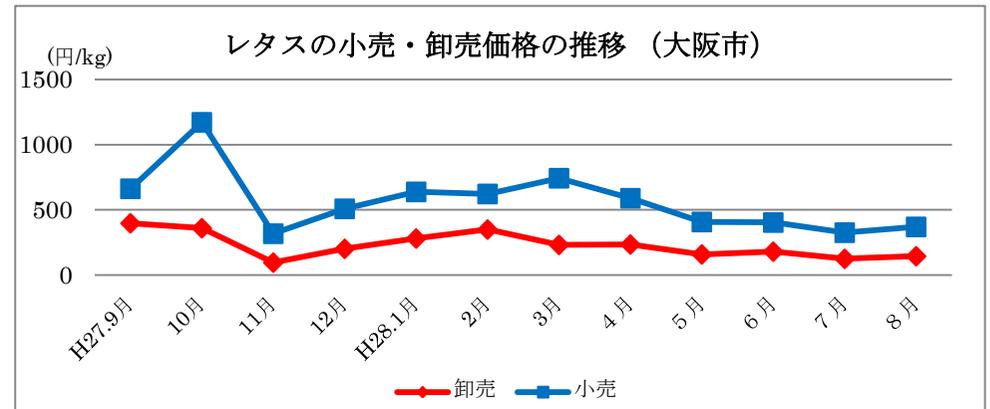
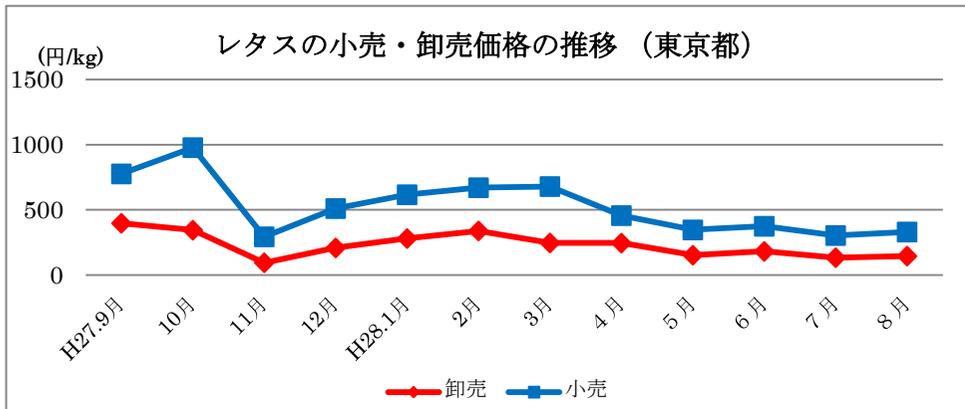
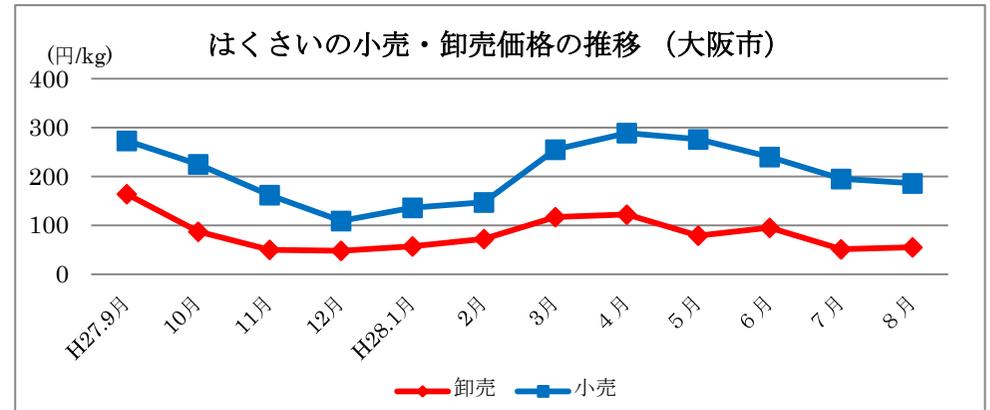
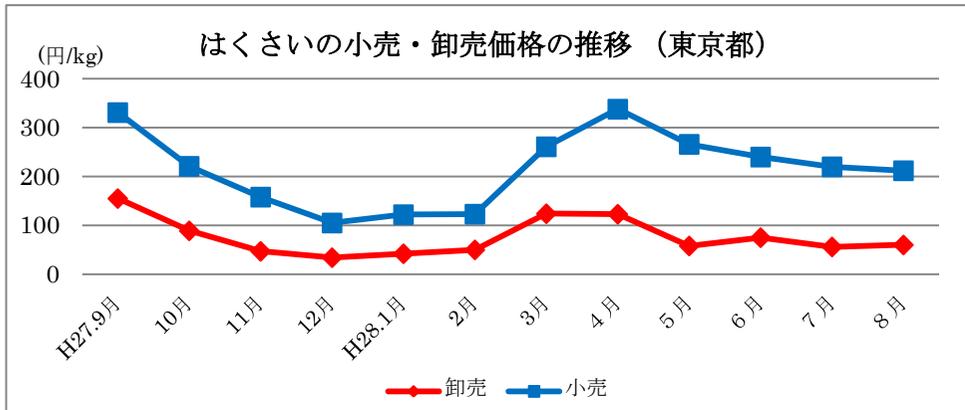
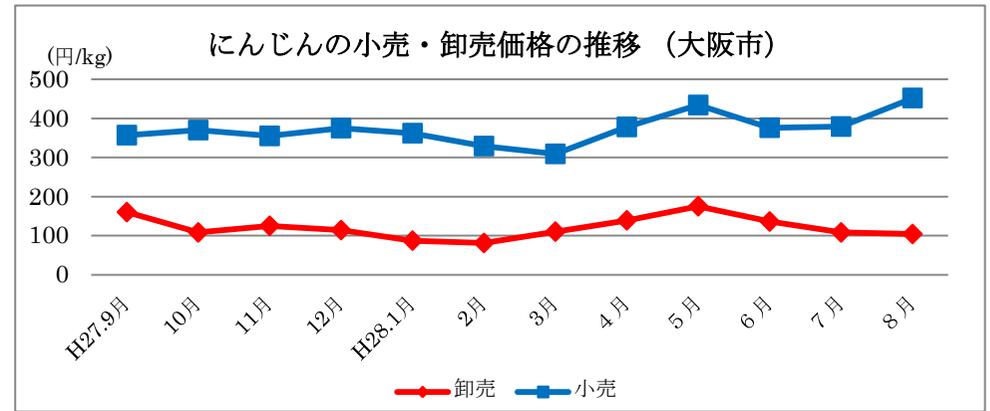
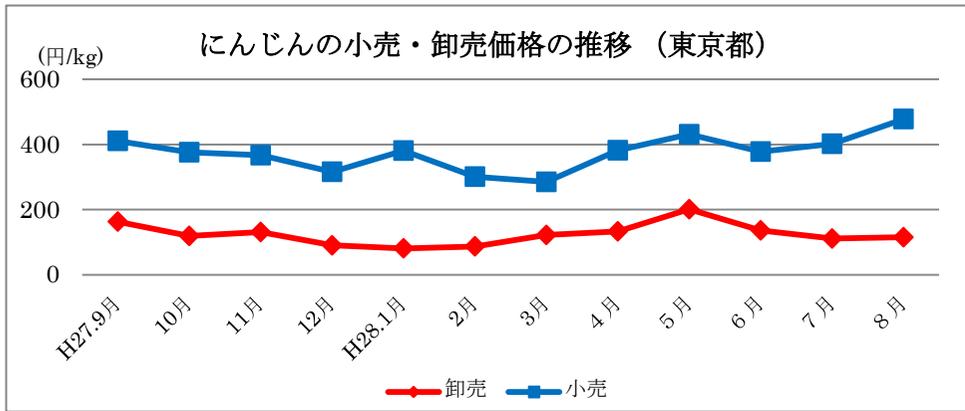


- 惣菜については、最高額は12月の974億円、最低額は11月の783億円であった。  
前年同月比の動向は、高齢化や個食化、時短ニーズの高まりなどにより支持され、総じて前年を上回ったが、8月は、土日が一日少なく、加えて台風による客数減の影響を受けたため、前年を下回った。



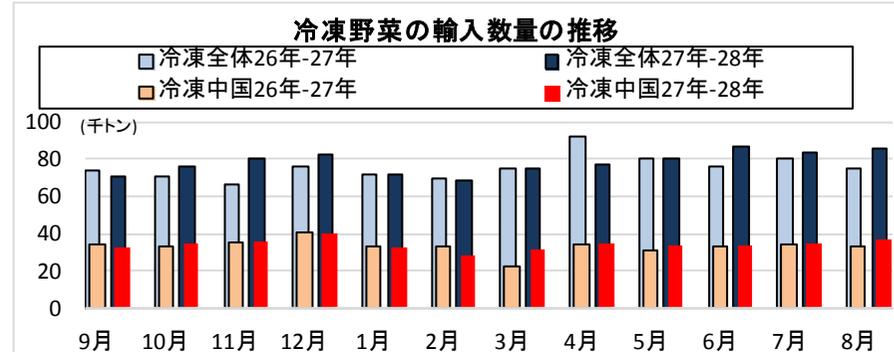
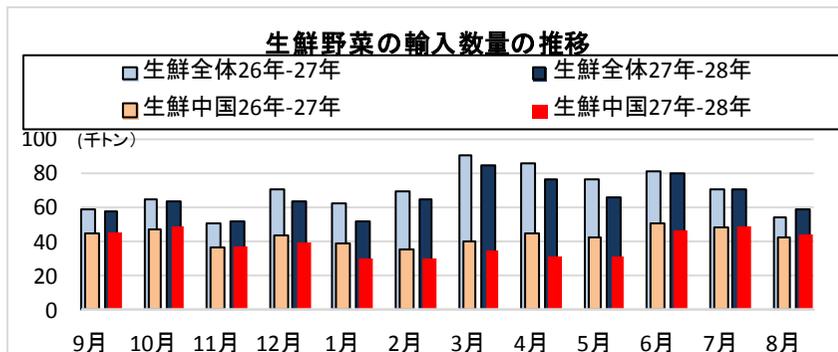
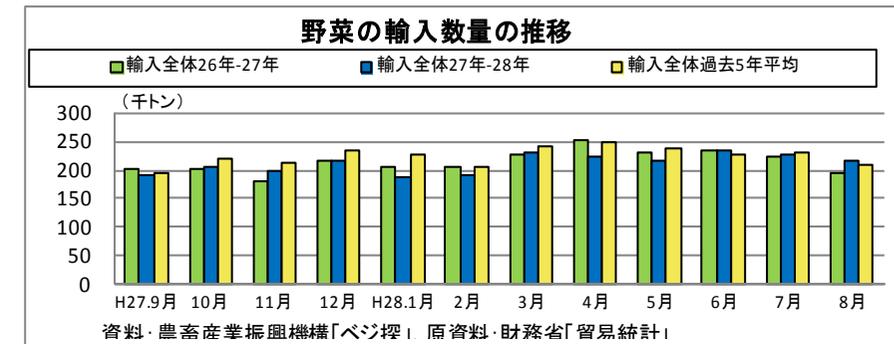
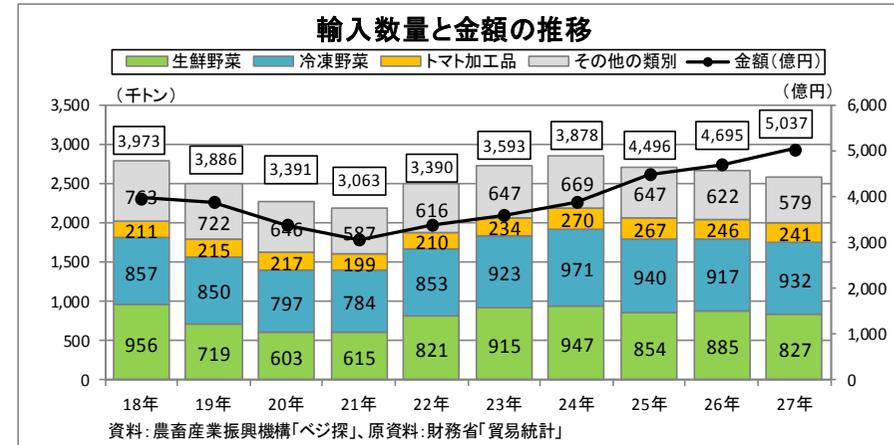
(3) 品目別小売・卸売価格



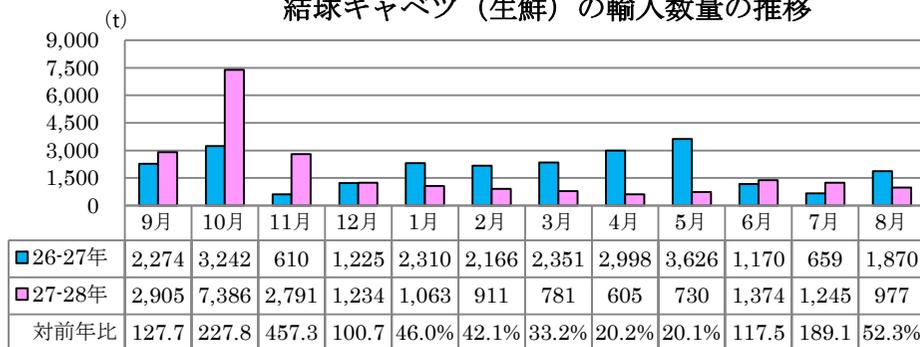


### 3. 輸入の動向

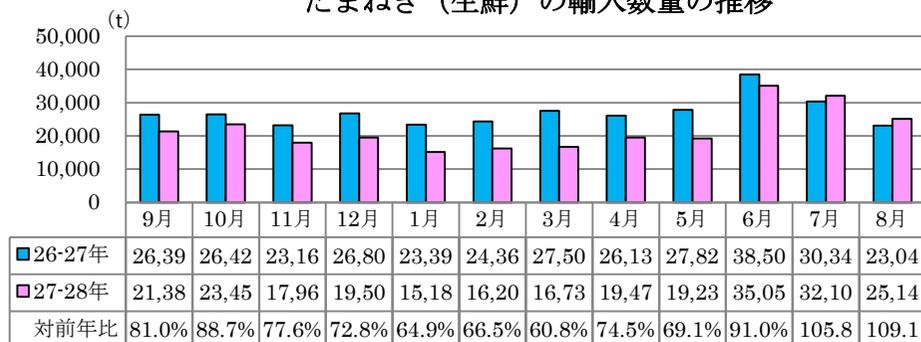
- 野菜の輸入数量は、平成24年以降減少傾向で推移している。平成27年は、円安及び海外産地の不作による輸入価格の高騰に加え、生鮮野菜の中で最も輸入数量が多いたまねぎが、北海道の作柄が良く、上半期の輸入数量が前年を大きく下回ったことなどから、前年を下回り、2,579千トン（対前年比97%）となった。
- 一方、輸入金額は、平成21年以降増加傾向で推移しており、平成27年は円安による輸入価格の高騰に加え、輸入数量の過半を占める中国産の生産・加工コストの上昇などから、5,037億円（対前年比107%）と過去最高となった。
- 月別の輸入数量をみると、8月は、たまねぎやばれいしょ（冷凍）の増加などにより、平年を上回った。
- 生鮮野菜の輸入数量は、8月は、佐賀県産等のたまねぎが病害の影響により出荷数量が減少したことなどから前年を上回った。
- 冷凍野菜の輸入数量は、10月から12月は、ばれいしょ等の輸入が前年を上回ったことなどから、6月から8月は、ばれいしょやスイートコーンが、ファーストフード等の国内需要が堅調だったことから、輸入量が増加して前年を上回った。



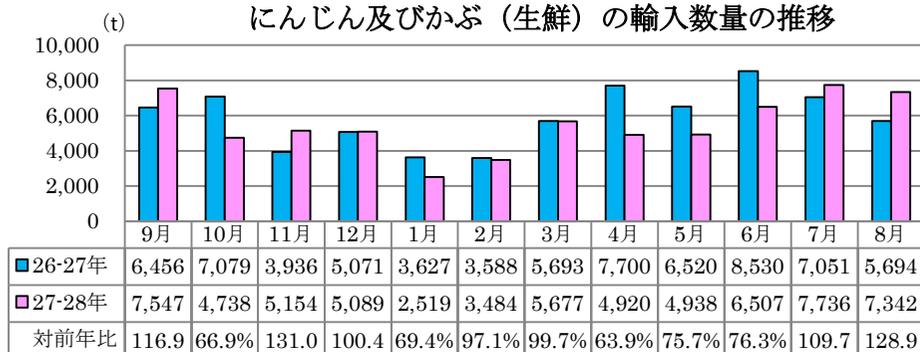
結球キャベツ（生鮮）の輸入数量の推移



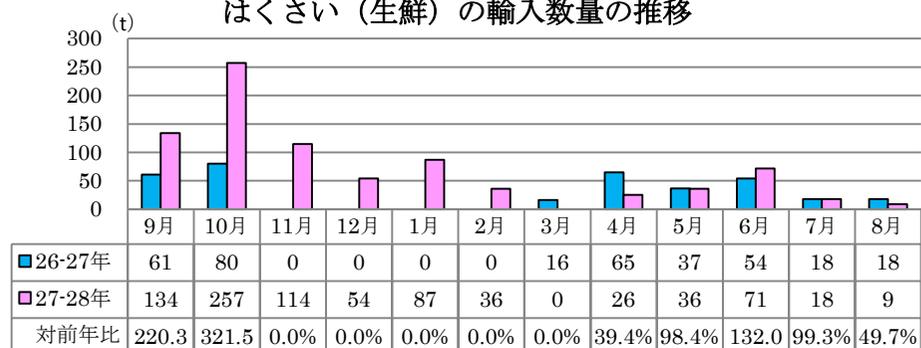
たまねぎ（生鮮）の輸入数量の推移



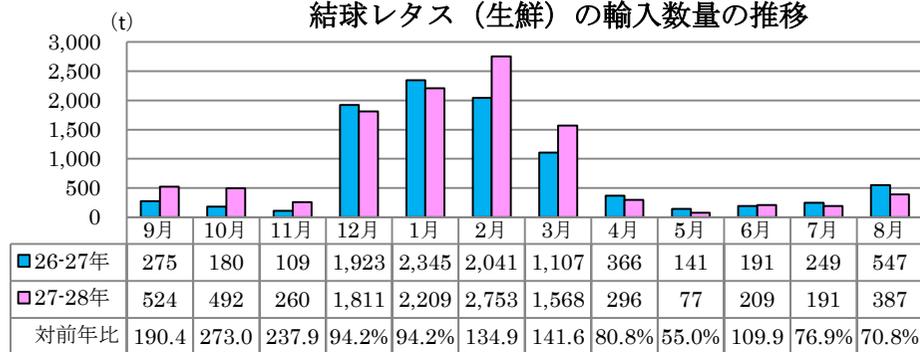
にんじん及びかぶ（生鮮）の輸入数量の推移



はくさい（生鮮）の輸入数量の推移



結球レタス（生鮮）の輸入数量の推移



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料：財務省「貿易統計」

#### 4. 平成28年産秋冬野菜主要品目の主産県別生産・出荷等

資料：農林水産省「作物統計(野菜)」  
平成28年8月30日公表

##### ○ 冬キャベツ

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	15,400	4,120	634,900	564,700	100.0
1	愛 知	4,240	4,700	199,300	188,700	33.4
2	千 葉	1,540	4,720	72,700	65,600	11.6
3	鹿 児 島	1,430	3,760	53,800	48,000	8.5
4	茨 城	906	4,300	39,000	35,800	6.3
5	神 奈 川	578	4,430	25,600	23,800	4.2
6	熊 本	562	3,520	19,800	17,300	3.1
7	兵 庫	460	3,860	17,800	14,900	2.6
8	福 岡	392	4,070	16,000	14,300	2.5
9	宮 崎	349	4,510	15,700	14,500	2.6
10	静 岡	293	3,980	11,700	9,820	1.7

##### ○ 秋冬だいこん

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	21,900	4,350	952,300	727,000	100.0
1	宮 崎	1,890	4,710	89,000	79,200	10.9
2	鹿 児 島	1,690	4,860	82,100	71,800	9.9
3	千 葉	1,670	5,590	93,400	85,100	11.7
4	新 潟	1,400	3,100	43,400	28,000	3.9
5	神 奈 川	1,020	8,170	83,300	79,200	10.9
6	茨 城	965	5,180	50,000	40,400	5.6
7	青 森	945	4,200	39,700	35,200	4.8
8	北 海 道	712	4,380	31,200	27,600	3.8
9	福 島	599	3,570	21,400	7,390	1.0
10	長 野	596	2,800	16,700	5,700	0.8

##### ○ たまねぎ

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	25,700	4,890	1,258,000	1,117,000	100.0
1	北 海 道	14,200	5,720	812,200	754,700	67.6
2	佐 賀	2,700	4,400	118,800	108,100	9.7
3	兵 庫	1,730	5,310	91,900	81,100	7.3
4	長 崎	776	4,020	31,200	28,000	2.5
5	愛 知	607	4,700	28,500	25,100	2.2
6	熊 本	332	3,410	11,300	9,590	0.9
7	静 岡	310	3,620	11,200	10,100	0.9
8	愛 媛	254	3,310	8,410	6,030	0.5
9	新 潟	251	1,860	4,670	2,290	0.2
10	栃 木	239	4,830	11,500	9,930	0.9

##### ○ 冬にんじん

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	8,060	3,300	265,700	230,600	100.0
1	千 葉	2,430	3,850	93,600	86,500	37.5
2	茨 城	662	3,590	23,800	19,400	8.4
3	長 崎	555	3,600	20,000	18,600	8.1
4	鹿 児 島	520	3,370	17,500	14,600	6.3
5	宮 崎	436	3,470	15,100	13,600	5.9
6	愛 知	428	4,880	20,900	19,600	8.5
7	埼 玉	379	3,670	13,900	11,800	5.1
8	熊 本	357	3,290	11,700	9,920	4.3
9	青 森	274	2,800	7,670	6,900	3.0
10	新 潟	144	2,800	4,030	2,990	1.3

##### ○ 秋冬はくさい

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	13,200	4,610	608,300	464,000	100.0
1	茨 城	2,690	7,090	190,700	177,800	38.3
2	長 野	673	7,760	52,200	43,100	9.3
3	福 島	579	2,880	16,700	5,360	1.2
4	栃 木	509	5,050	25,700	17,200	3.7
5	兵 庫	484	4,120	19,900	13,700	3.0
6	埼 玉	477	4,500	21,500	13,100	2.8
7	宮 城	464	1,730	8,030	3,020	0.7
8	愛 知	453	4,700	21,300	19,000	4.1
9	新 潟	395	1,860	7,350	2,960	0.6
10	鹿 児 島	395	5,580	22,000	18,500	4.0

##### ○ 冬レタス

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	8,040	2,270	182,900	169,800	100.0
1	茨 城	1,500	2,310	34,700	32,700	19.3
2	兵 庫	867	2,410	20,900	20,200	11.9
3	香 川	752	2,040	15,300	14,400	8.5
4	静 岡	737	2,560	18,900	18,200	10.7
5	福 岡	718	1,660	11,900	11,400	6.7
6	長 崎	683	3,460	23,600	21,200	12.5
7	熊 本	523	2,600	13,600	12,700	7.5
8	千 葉	337	1,950	6,570	5,920	3.5
9	徳 島	312	1,770	5,520	5,080	3.0
10	愛 知	304	1,620	4,920	4,590	2.7

## 5. 今後の気象予報

### 1ヶ月（10月22日～11月21日）予報に見る確率

	平均気温（1週目） 10/22～28	平均気温（2週目） 10/29～11/4	平均気温（3～4週目） 11/5～18
北日本	低 70% 並 20% 高 10% 低い 見込み	低 70% 並 20% 高 10% 低い 見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み
東日本	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い 見込み	低 50% 並 40% 高 10% 低い 見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み
西日本	低 10% 並 20% 高 70% 高い 見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い 見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み
沖縄・奄美	低 10% 並 10% 高 80% 高い 見込み	低 10% 並 40% 高 50% 高い 見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み

		平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
北日本	日本海側	低 60% 並 30% 高 10% 低い 見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い 見込み	少 50% 並 30% 多 20% 少ない 見込み
	太平洋側		少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い 見込み
東日本	日本海側	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み
	太平洋側		少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み
西日本	日本海側	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い 見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み
	太平洋側		少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み
沖縄・奄美		低 10% 並 30% 高 60% 高い 見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み

注：「低 並 高」、「少 並 多」は、それぞれ平年との比較（以下同じ。）

出典：「全般1ヶ月予報解説資料」（平成28年10月20日発表 気象庁地球環境・海洋部）

◎3ヶ月（11月～1月）予報に見る確率

	平均気温 11月	平均気温 12月	平均気温 1月
北日本	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 30% 高 40% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 30% 高 40% ほぼ平年並の見込み
東日本	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み
西日本	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い見込み
沖縄・奄美	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い見込み

		降水量 11月	降水量 12月	降水量 1月
北日本	日本海側	少 30% 並 30% 多 40% ほぼ平年並の見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い見込み
	太平洋側	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い見込み
東日本	日本海側	少 30% 並 30% 多 40% ほぼ平年並の見込み	少 30% 並 30% 多 40% ほぼ平年並の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少 40% 並 30% 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い見込み
	太平洋側	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 40% 並 30% 多 30% ほぼ平年並の見込み
沖縄・奄美		少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない見込み

出典：「全般3ヶ月予報（11～1月）解説資料」（平成28年10月25日発表 気象庁地球環境・海洋部）